

受験番号

中部会計専門学校

平成24年度  
第131回簿記検定試験

1級 一Ⅱ

模範解答

(平成24年6月10日(日)施行)

受験  
番号

第 131 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . . .

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①  
商 業 簿 記

氏名

問 1

(単位：千円)

a	40,000	d	88,500
b	18,000	e	3,000
c	52,500		

採点欄

問 2

連結貸借対照表

X2年度末

(単位：円)

現金預金 ( 48,600 )	仕入債務 ( 16,860 )
売上債権 ( 41,170 )	借入金 ( 62,700 )
棚卸資産 ( 33,500 )	資本金 ( 120,000 )
有形固定資産 ( 194,500 )	資本剰余金 ( 30,000 )
のれん ( 6,570 )	利益剰余金 ( 95,696 )
その他有価証券 ( 44,000 )	その他有価証券評価差額金 ( 3,000 )
	(為替換算調整勘定) ( 3,600 )
	(少数株主持分) ( 36,484 )
( 368,340 )	( 368,340 )

問 3

5,600

 千円

第 131 回簿記検定試験答案用紙

氏名

1 級 ②

会 計 学

試験地(会議所名)	採点欄

問 1

1	正 規 の 簿 記
2	投 資 そ の 他 の 資 産
3	間 接 法
4	持 分
5	振 当

採点欄

問 2

	区 分 法	一 括 法
社債発行時社債計上額	[1] 194,000 千円	[2] 200,000 千円
1. における社債利息計上額	[3] 3,200 千円	[4] 2,000 千円
2. における株式への転換請求により生じる資本金組入額	[5] 60,720 千円	[6] 60,000 千円
3. における社債償還に伴う新株予約権戻入益	[7] 2,400 千円	/
3. における社債償還に伴う社債償還額	/	[8] 80,000 千円
4. における自己株式処分差額	[9] 22,400 千円	/
自己株式処分差額の貸借対照表上の最も適切な記載区分	[10] その他資本剰余金	/

問 3

	設 問	
1	B社の純資産と収益還元価値の平均値	248,600 千円
2	A社の1株当たり企業評価額	153 円
3	A社株式の1株当たりのB社株式交換比率	0.81 株
4	A社の新株発行に伴う資本金の増加額	259,200 千円
5	「のれん」計上額	33,200 千円

受験  
番号

--	--	--	--

第 131 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . .

試験地 (会議所名)	採点欄

1 級 ③

工業簿記

氏名

問 1

ケースB	ケースC
4,968,000 円	4,653,500 円

採点欄

問 2

仕 掛 品		(単位 : 円)
直接材料費	13,938,350	製 品 ( 29,272,400 )
直接労務費 ( 6,237,000 )		月末仕掛品 ( 457,950 )
製造間接費 ( 9,555,000 )		
	( 29,730,350 )	( 29,730,350 )

問 3

製 品 A	製 品 B	製 品 C
8,954,070 円	9,338,750 円	12,434,780 円

問 4

591,550 円
-----------

問 5

21,000 円
----------

問 6

1,421,000 円 ( 増加 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">減少</span> ) する
--

増加 減少のいずれか該当するほうを○で囲むこと。

生年月日 昭・平 . . .

第 131 回簿記検定試験答案用紙

受験  
番号

--	--	--	--

氏名 \_\_\_\_\_

1 級 ④

原 価 計 算

試験地 (会議所名)	採 点 欄

採 点 欄

①	3,554 千円
②	30,456 千円
③	貢献利益率
④	高い
⑤	60 円
⑥	市場総需要量
⑦	9,500 個
⑧	市場総需要量差異
⑨	3,277.5 千円
⑩	市場占拠率
⑪	市場占拠率差異
⑫	3,415.5 千円
⑬	1,206 千円
⑭	1,800 千円
⑮	売上高営業利益率
⑯	経営レバレッジ係数

--

--

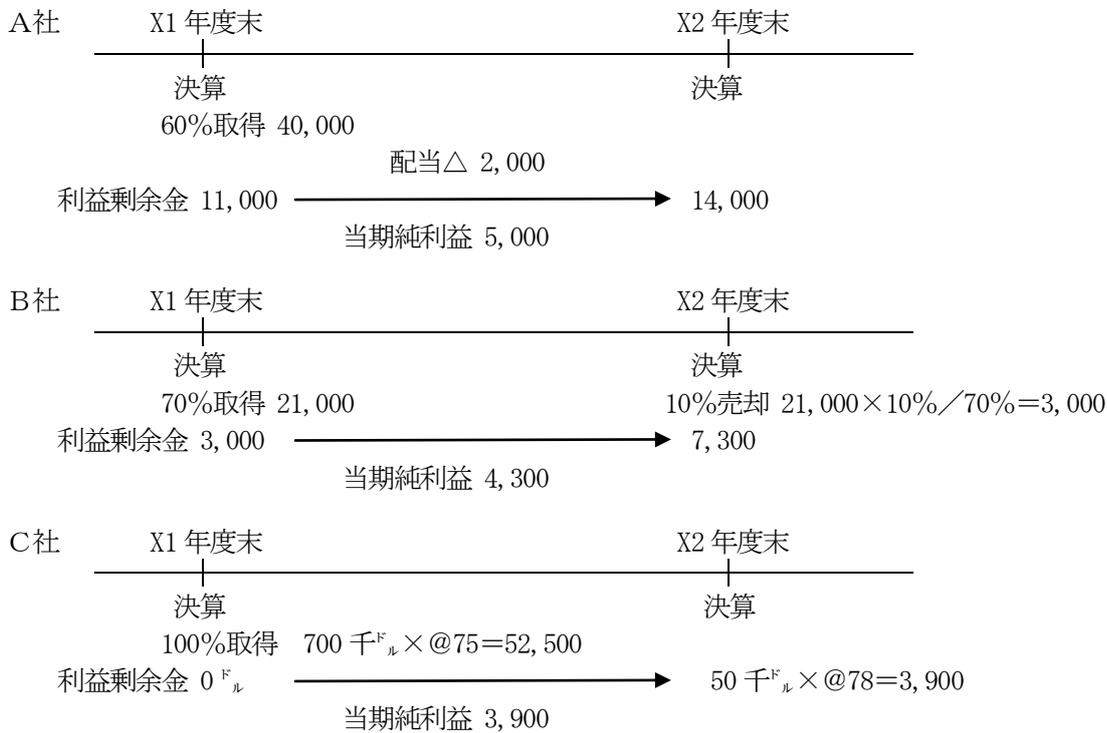
問1

P社貸借対照表

(単位：千円)

科 目	X1年度末	X2年度末	科 目	X1年度末	X2年度末
現金預金	25,000	28,000	仕入債務	8,000	9,000
売上債権	20,000	18,000	借入金	30,000	30,000
棚卸資産	11,000	13,000	資本金	120,000	120,000
有形固定資産	50,000	67,000	資本剰余金	30,000	30,000
A社株式	( 40,000 )	( 40,000 )	利益剰余金	( 72,500 )	( 88,500 )
B社株式	( 21,000 )	( 18,000 )	その他有価証券評価差額金	( 1,000 )	( 3,000 )
C社株式	( 52,500 )	( 52,500 )			
その他有価証券	( 42,000 )	( 44,000 )			
	( 261,500 )	( 280,500 )		( 261,500 )	( 280,500 )

問2



A社(全面時価評価法)

X1年度末 60%取得

有形固定資産	10,000	評価差額	10,000
評価差益	30,000-20,000=10,000		
資本金当期首残高	30,000	A社株式	40,000
資本剰余金当期首残高	10,000	少数株主持分当期首残高	24,400
利益剰余金当期首残高	11,000		
評価差額のれん	10,000		
のれん	3,400		

少数株主持分 (30,000+10,000+11,000+10,000)×40% =24,400

のれん 40,000-(30,000+10,000+11,000+10,000)×60%=3,400

当期純利益の振替 (X1年度末~X2年度末)

少数株主損益	2,000	少数株主持分当期変動額	2,000
5,000×40%	=2,000		

のれんの償却 (X2年度末)

のれん償却額	340	のれん	340
3,400÷10年	=340		

剰余金の配当 (X2 年度中)

受 取 配 当 金	1,200	利益剰余金当期変動額	2,000
少数株主持分当期変動額	800		
配 当 金 P社 (親会社)	$2,000 \times 60\% = 1,200$		
少数株主持分	$2,000 \times 40\% = 800$		

内部取引高の相殺消去

売 上 高	5,400	売 上 原 価	5,400
-------	-------	---------	-------

未達商品

棚 卸 資 産	960	仕 入 債 務	960
---------	-----	---------	-----

期首商品 未実現利益の消去(アップ・ストリーム)

開始仕訳

利益剰余金当期首残高	350	棚 卸 資 産	350
少数株主持分当期首残高	140	利益剰余金当期首残高	140
未実現利益 $2,100 \times 20\% / 120\% = 350$		少数株主持分への振替 $350 \times 40\% = 140$	

実現仕訳

棚 卸 資 産	350	売 上 原 価	350
少 数 株 主 損 益	140	少数株主持分当期変動額	140
未実現利益 $2,100 \times 20\% / 120\% = 350$		少数株主持分への振替 $350 \times 40\% = 140$	

期末商品 未実現利益の消去(アップ・ストリーム)

売 上 原 価	660	棚 卸 資 産	660
少数株主持分当期変動額	264	少 数 株 主 損 益	264
未実現利益 $(3,000 + 960) \times 20\% / 120\% = 660$		少数株主持分への振替 $660 \times 40\% = 264$	

債権・債務の相殺

仕 入 債 務	3,500	売 上 債 権	3,500
---------	-------	---------	-------

貸倒引当金の設定 (X1 年度末)

開始仕訳

売 上 債 権	40	利益剰余金当期首残高	40
利益剰余金当期首残高	16	少数株主持分当期首残高	16
売上債権の金額 $1,960 \div (100\% - 2\%) = 2,000$		貸倒引当金の修正 $2,000 - 1,960 = 40$	
少数株主持分への振替 $40 \times 40\% = 16$			

貸倒引当金の設定 (X1 年度末)

実現仕訳

貸 倒 引 当 金 繰 入	40	売 上 債 権	40
少数株主持分当期変動額	16	少 数 株 主 損 益	16
売上債権の金額 $1,960 \div (100\% - 2\%) = 2,000$		貸倒引当金の修正 $2,000 - 1,960 = 40$	
少数株主持分への振替 $40 \times 40\% = 16$			

貸倒引当金の設定 (X2 年度末)

売 上 債 権	70	貸 倒 引 当 金 繰 入	70
少 数 株 主 損 益	28	少数株主持分当期変動額	28
売上債権の金額 $3,430 \div (100\% - 2\%) = 3,500$		貸倒引当金の修正 $3,500 - 3,430 = 70$	
少数株主持分への振替 $70 \times 40\% = 28$			

その他有価証券の評価

その 他 の 有 価 証 券	5,000	その他有価証券評価差額金	5,000
その他有価証券評価差額金	2,000	その 他 の 有 価 証 券	2,000
D社株式 (X2 年度末時価) 25,000 - (取得原価) 20,000 = +5,000 (評価差益)			
E社株式 (X2 年度末時価) 19,000 - (取得原価) 21,000 = △2,000 (評価差損)			

B社(全面時価評価法)

X1年度末 70%取得

有形固定資産	500	評価差額	500
資本金当期首残高	20,000	B社株式	21,000
利益剰余金当期首残高	3,000	少数株主持分当期首残高	7,050
評価差額	500		
のれん	4,550		

少数株主持分  $(20,000+3,000+500) \times 30\% = 7,050$

のれん  $21,000 - (20,000+3,000+500) \times 70\% = 4,550$

当期純利益の振替 (X1年度末~X2年度末)

少数株主損益	1,290	少数株主持分当期変動額	1,290
	$4,300 \times 30\% = 1,290$		

のれんの償却 (X2年度末)

のれん償却額	455	のれん	455
	$4,550 \div 10 \text{年} = 455$		

B社株式10%売却 (X2年度末)

B社株式	3,000	少数株主持分当期変動額	2,780
B社株式売却益	365	のれん	585

B社株式の売却原価  $21,000 \times 10\% / 70\% = 3,000$

少数株主持分の増加額  $(20,000+3,000+4,300+500) \times 10\% = 2,780$

のれんの償却額  $(4,550 - 455) \times 10\% / 70\% = 585$

会計上の売却時の仕訳

現金預金	3,600	B社株式	3,000
		B社株式売却益	600

連結上の売却時の仕訳

現金預金	3,600	B社株式	3,365
		B社株式売却益	235

B社株式の連結上の売却原価 少数株主持分の増加額  $2,780 + \text{のれんの償却額 } 585 = 3,365$   
 よって、B社株式売却益を  $600 - 235 = 365$  修正する。

C社(全面時価評価法)

日本円への換算

貸借対照表

現金預金	@80円×160ドル	12,800
売上債権	@80円×20ドル	1,600
棚卸資産	@80円×90ドル	7,200
有形固定資産	@80円×610ドル	48,800
借方合計		<u>70,400</u>
仕入債務	@80円×30ドル	2,400
借入金	@80円×100ドル	8,000
資本金	@75円×700ドル	52,500
利益剰余金	@78円×50ドル	3,900
(当期純利益)		
為替換算調整勘定	貸借差額	<u>3,600</u>
貸方合計		<u>70,400</u>

X1年度末 100%取得

資本金当期首残高	52,500	C社株式	52,500
----------	--------	------	--------

問3

その他の包括利益

その他有価証券評価差額金

前期末

D社株式 (X1年度末時価) 22,000 - (取得原価) 20,000 = +2,000 (評価差益)

E社株式 (X1年度末時価) 20,000 - (取得原価) 21,000 =  $\triangle 1,000$  (評価差損)

+1,000 (評価差益)

当期末

D社株式 (X2年度末時価) 25,000 - (取得原価) 20,000 = +5,000 (評価差益)

E社株式 (X2年度末時価) 19,000 - (取得原価) 21,000 =  $\triangle 2,000$  (評価差損)

+3,000 (評価差益)

当期変動額 3,000 (当期末 評価差益) - 1,000 (前期末 評価差益) = 2,000 (評価差益)

為替換算調整勘定

3,600

5,600

会計学解説

第2問 (単位: 千円)

区分法

X1年4月1日 発行時

当座預金	194,000		社債	194,000
当座預金	6,000		新株予約権	6,000
発行価額	$200,000 \times 97/100 = 194,000$			
新株予約権	$200,000 \times 3/100 = 6,000$			

X1年9月30日 利払日

社債利息	2,000		当座預金	2,000
$200,000 \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 2,000$				

X2年3月31日 利払日

社債利息	2,000		当座預金	2,000
$200,000 \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 2,000$				

X2年3月31日 決算日

社債利息	1,200		社債	1,200
$(200,000 - 194,000) \times 12 \text{ヶ月} / 60 \text{ヶ月} = 1,200$				

X2年9月30日 利払日

社債利息	2,000		当座預金	2,000
$200,000 \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 2,000$				

X3年3月31日 利払日

社債利息	2,000		当座預金	2,000
$200,000 \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 2,000$				

X3年3月31日 決算日

社債利息	1,200		社債	1,200
$(200,000 - 194,000) \times 12 \text{ヶ月} / 60 \text{ヶ月} = 1,200$				

X3年3月31日 新株予約権の行使請求時

社債	117,840		資本金	60,720
新株予約権	3,600		資本準備金	60,720
社債勘定の簿価 $(194,000 + 1,200 + 1,200) \times 60\% = 117,840$				
新株予約権の取崩額 $6,000 \times 60\% = 3,600$				
資本金組入額 $(117,840 + 3,600) \times 1/2 = 60,720$				
資本金に組み入れない額 $(117,840 + 3,600) - 60,720 = 60,720$				

X6年3月31日 利払日

社債利息	800		当座預金	800
$200,000 \times 40\% \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 800$				

X6年3月31日 決算日

社債利息	480		社債	480
$(80,000 - 80,000 \times 97/100) \times 12 \text{ヶ月} / 60 \text{ヶ月} = 480$				

X6年3月31日 償還日

社債	80,000		当座預金	80,000
----	--------	--	------	--------

X6年3月31日 権利未行使分

新株予約権	2,400		新株予約権戻入益	2,400
-------	-------	--	----------	-------

$6,000 \times 40\% = 2,400$

4の場合

社債	80,000		自己株式	60,000
新株予約権	2,400		自己株式処分差益	22,400

一括法

X1年4月1日 発行時

当座預金	200,000		社債	200,000
------	---------	--	----	---------

X1年9月30日 利払日

社債利息	2,000		当座預金	2,000
------	-------	--	------	-------

$200,000 \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 2,000$

X2年3月31日 利払日

社債利息	2,000		当座預金	2,000
------	-------	--	------	-------

$200,000 \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 2,000$

X2年9月30日 利払日

社債利息	2,000		当座預金	2,000
------	-------	--	------	-------

$200,000 \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 2,000$

X3年3月31日 利払日

社債利息	2,000		当座預金	2,000
------	-------	--	------	-------

$200,000 \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 2,000$

X3年3月31日 新株予約権の行使請求時

社債	120,000		資本金	60,000
			資本準備金	60,000

社債勘定の簿価  $200,000 \times 60\% = 120,000$

資本金組入額  $120,000 \times 1/2 = 60,000$

資本金に組み入れない額  $120,000 - 60,000 = 60,000$

X6年3月31日 利払日

社債利息	800		当座預金	800
------	-----	--	------	-----

$200,000 \times 40\% \times 2\% \times 6 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月} = 800$

X6年3月31日 償還日

社債	80,000		当座預金	80,000
----	--------	--	------	--------

第3問 (単位: 千円)

(1) 企業評価額

純資産額

$$\text{A社(取得企業)} : 3,000,000 - 1,300,000 = 1,700,000$$

$$\text{B社(被取得企業)} : \{500,000 + (36,000 - 30,000) + (40,000 - 20,000)\} - 300,000 = 226,000$$

収益還元価値

$$\text{A社(取得企業)} : 1,700,000 \times 4\% \div 5\% = 1,360,000$$

$$\text{B社(被取得企業)} : 226,000 \times 6\% \div 5\% = 271,200$$

$$\text{A社(取得企業)} : (1,700,000 + 1,360,000) \div 2 = 1,530,000$$

$$\text{B社(被取得企業)} : (226,000 + 271,200) \div 2 = 248,600$$

(2) 1株あたりの企業評価額

$$\text{A社(取得企業)} : 1,530,000 \div 10,000 \text{株} = @153$$

$$\text{B社(被取得企業)} : 248,600 \div 2,000 \text{株} = @124.3$$

(3) 株式交換比率

$$\frac{@124.3}{@153} = \frac{0.8124\cdots}{1} \rightarrow 0.81$$

(4) 交付株式数と増加資本金

$$\text{交付株式数} \quad 2,000 \text{株} \times 0.81 = 1,620 \text{株}$$

$$\text{増加資本金} \quad 1,620 \text{株} \times @160 = 259,200$$

(5) 「のれん」計上額

$$\text{取得原価(増加する資本金の額)} \quad 1,620 \text{株} \times @160 = 259,200$$

$$\text{配分された純資産額} \quad \{500,000 + (36,000 - 30,000) + (40,000 - 20,000)\} - 300,000 = 226,000$$

$$\text{のれん計上額} \quad 226,000 - 259,200 = \triangle 33,200$$

工業簿記解説(単位：円)

問1 ケース用金属必要量

ケースA	1.0kg×2,000個=	2,000kg
ケースB	1.2kg×2,000個=	2,400kg
ケースC	2.0kg×1,000個=	2,000kg
		<u>6,400kg</u>

塗料必要量

ケースA	0.1ℓ×2,000個=	200ℓ
ケースB	0.2ℓ×2,000個=	400ℓ
ケースC	0.4ℓ×1,000個=	400ℓ
		<u>1,000ℓ</u>

ケース用金属消費額

$$@800 \times 6,430\text{kg} = 5,144,000$$

塗料消費額

$$@500 \times 1,020\ell = 510,000$$

製造間接費予定配賦率

$$\text{ケース加工部門} \quad \frac{78,000,000}{15,600\text{時間}} = @5,000/\text{時間}$$

$$\text{組立部門} \quad \frac{48,000,000}{24,000\text{時間}} = @2,000/\text{時間}$$

実際完成品総合原価

ケースA

ケース用金属	$5,144,000 \times \frac{2,000\text{kg}}{6,400\text{kg}}$	=	1,607,500
塗料	$510,000 \times \frac{200\ell}{1,000\ell}$	=	102,000
直接労務費	@2,000×410時間	=	820,000
製造間接費	@5,000×410時間	=	2,050,000
合計			<u>4,579,500</u>

ケースB

ケース用金属	$5,144,000 \times \frac{2,400\text{kg}}{6,400\text{kg}}$	=	1,929,000
塗料	$510,000 \times \frac{400\ell}{1,000\ell}$	=	204,000
直接労務費	@2,000×405時間	=	810,000
製造間接費	@5,000×405時間	=	2,025,000
合計			<u>4,968,000</u>

ケースC

ケース用金属	$5,144,000 \times \frac{2,000\text{kg}}{6,400\text{kg}}$	=	1,607,500
塗料	$510,000 \times \frac{400\ell}{1,000\ell}$	=	204,000
直接労務費	@2,000×406時間	=	812,000
製造間接費	@5,000×406時間	=	2,030,000
合計			<u>4,653,500</u>

問2

当月投入費用

直接材料費

ケース用金属	@800×6,430kg =	5,144,000
塗料	@500×1,020ℓ =	510,000
共通部品	@300×4,806個 =	1,441,800
買入部品A	@120×3,604個 =	432,480
買入部品B	@130×4,005個 =	520,650
買入部品C	@140×4,003個 =	560,420
配線用金属	@1,000×2,929g =	2,929,000
梱包材	@500×4,800セット =	2,400,000
合計		<u>13,938,350</u>

直接労務費

ケース加工部門		
ケースA	@2,000×410時間 =	820,000
ケースB	@2,000×405時間 =	810,000
ケースC	@2,000×406時間 =	812,000
組立部門		
製品A	@2,200×510時間 =	1,122,000
製品B	@2,200×610時間 =	1,342,000
製品C	@2,200×605時間 =	1,331,000
合計		<u>6,237,000</u>

製造間接費

ケース加工部門		
ケースA	@5,000×410時間 =	2,050,000
ケースB	@5,000×405時間 =	2,025,000
ケースC	@5,000×406時間 =	2,030,000
組立部門		
製品A	@2,000×510時間 =	1,020,000
製品B	@2,000×610時間 =	1,220,000
製品C	@2,000×605時間 =	1,210,000
合計		<u>9,555,000</u>

完成品原価

配線用金属必要量

製品A	0.5kg×1,800個 =	900kg
製品B	0.5kg×2,000個 =	1,000kg
製品C	1.0kg×1,000個 =	1,000kg
		<u>2,900kg</u>

製品 A

ケース A	$4,579,500 \times \frac{1,800 \text{ 個}}{2,000 \text{ 個}} =$	4,121,550
共通部品	@300 × (1 個 × 1,800 個 + 3 個) =	540,900
買入部品 A	@120 × 3,604 個 =	432,480
配線用金属	$2,929,000 \times \frac{900\text{g}}{2,900\text{g}} =$	909,000
梱包材	@500 × (1 セット × 1,800 個) =	900,000
直接労務費 組立部門	@2,200 × 510 時間 =	1,122,000
製造間接費 組立部門	@2,000 × 510 時間 =	1,020,000
合計		<u>9,045,930</u>

製品 B

ケース A	$4,968,000 \times \frac{2,000 \text{ 個}}{2,000 \text{ 個}} =$	4,968,000
共通部品	@300 × (1 個 × 2,000 個 + 2 個) =	600,600
買入部品 B	@130 × 4,005 個 =	520,650
配線用金属	$2,929,000 \times \frac{1,000\text{g}}{2,900\text{g}} =$	1,010,000
梱包材	@500 × (1 セット × 2,000 個) =	1,000,000
直接労務費 組立部門	@2,200 × 610 時間 =	1,342,000
製造間接費 組立部門	@2,000 × 610 時間 =	1,220,000
合計		<u>10,661,250</u>
		<u>0</u>

製品 C

ケース A	$4,653,500 \times \frac{1,000 \text{ 個}}{1,000 \text{ 個}} =$	4,653,500
共通部品	@300 × (1 個 × 1,000 個 + 1 個) =	300,300
買入部品 C	@140 × 4,003 個 =	560,420
配線用金属	$2,929,000 \times \frac{1,000\text{g}}{2,900\text{g}} =$	1,010,000
梱包材	@500 × (1 セット × 1,000 個) =	500,000
直接労務費 組立部門	@2,200 × 605 時間 =	1,331,000
製造間接費 組立部門	@2,000 × 605 時間 =	1,210,000
合計		<u>9,565,220</u>

製品 A 9,045,930 + 製品 B 10,661,250 + 製品 C 9,565,220 = 29,272,400



問3

製品 A		
売上高	@10,000×1,800 個=	18,000,000
売上原価		<u>9,045,930</u>
売上総利益		<u>8,954,070</u>
製品 B		
売上高	@10,000×2,000 個=	20,000,000
売上原価		<u>10,661,250</u>
売上総利益		<u>9,338,750</u>
製品 C		
売上高	@22,000×1,000 個=	22,000,000
売上原価		<u>9,565,220</u>
売上総利益		<u>12,434,780</u>

問4

ケース用金属	@800×(6,500kg-6,430kg)=	56,000
塗料	@500×(1,100ℓ-1,020ℓ)=	40,000
共通部品	@300×(5,020個-4,806個)=	64,200
買入部品 A	@120×(4,010個-3,604個)=	48,720
買入部品 B	@130×(4,010個-4,005個)=	650
買入部品 C	@140×(4,010個-4,003個)=	980
配線用金属	@1,000×(3,200kg-2,929g)=	271,000
梱包材	@500×(5,020セット-4,800セット)=	<u>110,000</u>
合計		<u>591,550</u>

問5

製品B		
直接労務費	@2,200×5時間=	11,000
製造間接費	@2,000×5時間=	<u>10,000</u>
		<u>21,000</u>

製品Bの売上原価が21,000減少するので、売上総利益は21,000増加する。

問6

作業単位Ⅱの予定配賦率

$$(78,000,000 - 54,600,000) \times 1/3 \div 5,200 \text{ 時間} = @1,500/\text{時間}$$

作業単位Ⅱの予定配賦額 @1,500×406時間=609,000

ケースCのケース加工部門の予定配賦額 @5,000×406時間=2,030,000

予定配賦額が2,030,000-609,000=1,421,000減少するので、完成品総合原価は1,421,000減少する。

原価計算解説

問1 (単位: 千円)

① 実績 予 算

$$(製品X 43,200 + 製品Y 24,354) - (製品X 40,000 + 製品Y 24,000) = +3,554 (有利差異)$$

②

	製品X	製品Y	合 計
売 上 高	43,200	24,354	67,554
変動売上原価	20,000 ÷ 80,000 個 = @250	10,000 ÷ 20,000 個 = @500	
	@250 × 90,000 個 =	@500 × 19,800 個 =	
	22,500	9,900	32,400
変動販売費	4,500	198	4,698
貢 献 利 益			<u>30,456</u>

③④ 貢献利益率

$$製品X \quad \frac{16,000}{40,000} = 0.4 \qquad 製品Y \quad \frac{13,800}{24,000} = 0.575$$

⑤ 予 算 実 績

$$(10,000 ÷ 20,000 個 = @500 円) - (8,712 ÷ 19,800 個 = @440 円) = @60 円$$

⑦ 実 績 予 算

$$(19,800 個 ÷ 40\% = 49,500 個) - (20,000 個 ÷ 50\% = 40,000 個) = +9,500 個$$

⑮ 売上高営業利益率

$$実績 \quad \frac{15,744}{43,200 + 24,354} \times 100 = 23.3053\cdots\% \rightarrow 23.3\%$$

$$予算 \quad \frac{16,600}{40,000 + 24,000} \times 100 = 25.9375\cdots\% \rightarrow 25.9\%$$

$$実績 23.3\% - 予算 25.9\% = \Delta 2.6\%$$

⑯ 経営レバレッジ係数 = 貢献利益 ÷ 営業利益

$$実績 \quad \frac{13,500 + 15,444}{15,744} = 1.83841\cdots$$

$$予算 \quad \frac{16,000 + 13,800}{16,600} = 1.79518\cdots$$

$$実績 1.83841\cdots - 予算 1.79518\cdots = +0.0432\cdots$$

製品X

予算貢献利益 16,000		販売数量差異 2,000,000円(有利差異)		製品1個あたり の予算貢献利益額 200円
予算販売単価 500円	販売価格差異 ⑭ 1,800(不利差異)	市場占拠率 差異	市場総需要量 差異	
実際販売単価 480円	実際貢献利益 13,500	⑫ 3,000 (有利差異)	⑨ 1,000 (不利差異)	
実際変動費 330円	変動費差異 2,700(不利差異)			
標準変動費 300円				
実際販売数量 90,000個		予算販売数量 80,000個		
実際販売数量 × 予算市場占拠率 $90,000 \text{ 個} \div 60\% \times 50\% = 75,000 \text{ 個}$				

製品Y

予算貢献利益 13,800		販売数量差異 138(不利差異)		製品1個あたり の予算貢献利益額 690円
予算販売単価 1,200円	販売価格差異 594(有利差異)	市場占拠率 差異	市場総需要量 差異	
実際販売単価 1,230円	実際貢献利益 15,444	3,415.5 (不利差異)	3,277.5 (有利差異)	
実際変動費 450円	変動費差異 1,188(有利差異)			
標準変動費 510円				
実際販売数量 19,800個		予算販売数量 20,000個		
実際販売数量 × 予算市場占拠率 $19,800 \text{ 個} \div 40\% \times 50\% = 24,750 \text{ 個}$				

⑬ 製品X 1,800(不利差異) + 製品Y 594(有利差異) = 1,206(不利差異)